

特集①

「南島原市」の未来を切り拓いていく!

松本市政の2期目がスタート!!

市政運営への所信表明



私は平成26年7月の市長就任以来、「住み続けたい 住んでみたいまち」を実現させるため、「安全で地球環境に優しいまち」、「確固とした基盤のうえに活力ある産業を育むまち」などの5つの指針を掲げ、各種施策を実施するとともに、課題の一つひとつに向き合い、対策を講じてまいりました。

2期目の市政運営におきましても、市民一人ひとりのし

あわせを実現するための、「これからも 住み続けたい 住んでみたいまち」づくりを更に推進するには、私が今回掲げている5つの公約である「仕事を生み出す」、「人を育てる」、「交流を生み出す」、「まちを育てる」の「まちは育てる」の実現に向けた取り組みを進めるとともに、市民の皆さまの声を聴きながら、初心を忘れることなく、誠心誠意、南島原市長としての重責を全うしてまいりますので、皆さまの市政に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。

南島原市長

松本政博

市長がすすめる具体的なまちづくり

「仕事を生み出す」

- 農地圃場整備の推進
- 地域商社設立による物産販売促進
- 地場産業育成による雇用拡大 など

「暮らしを守る」

- 高齢者等の交通支援
- 島鉄跡地を活用した排水路整備
- 移住定住の推進 など

「まちを育てる」

- 地域高規格道路の早期事業化
- 主要公共施設へのWi-Fi整備
- 市役所の組織再編 など

「交流を生み出す」

- 世界遺産関連施設の整備
- 島鉄跡地活用によるサイクリングロードの整備
- 口ノ津港再整備 など

「人を育てる」

- 保育料の軽減措置拡充
- 学校跡地を活用したこども公園の整備
- 英語教育の充実
- 給食センターの整備
- 女性・高齢者が活躍するための環境整備 など



特集② 「家庭防災会議の日」を決め、家族で防災について考えましょう!

図 総務課 ☎73-6621



毎年9月1日は「防災の日」、また8月30日から9月5日の1週間は「防災週間」です。この1週間は家庭の防災を考える日と決め、家庭で話し合ってみませんか？ 災害は昼夜いつ起きるかわかりません。誰が在宅しているか、さまざまなケースを想定して話し合っておきましょう。

【確認ポイント】

- 1 家の中で一番安全なのはどこかを調べる。
- 2 地震が起きたときだけでなく、日ごろの防災対策上の役割も決めておく。
- 3 避難場所、避難経路の確認。
- 4 非常用持ち出し袋は備えているか。また、どこにおいてあるか。
- 5 消火器などを備え、使い方を理解しておく。
- 6 家族が離ればなれになったときの連絡方法や集合場所を決めておく。
- 7 家の耐震診断、耐震改修、家具の転倒防止、家の中などの整理整頓をしておく。



大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。

また、自宅が被災したときは、安全な場所に避難し、そこで避難生活を送ることになります。避難所生活に必要なもの(非常用持ち出し品)をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。

【災害時に備えた備蓄品の例】

- 飲料水…一人1日3リットルを目安に、3日分を用意。
- 食 品…一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう。
アルファ米などのご飯一人5食分・ビスケット・板チョコ・乾パンなど
- その他…マスク・軍手・懐中電灯・衣類・下着・毛布・タオル・使い捨てカイロ・ウェットティッシュ・洗面用具・携帯ラジオ・予備電池など



※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておくなどの備えをしておきましょう。

CONTENTS



特集 松本市政2期目スタート	2	国際交流員コラム	13
特集「家庭防災会議の日」を決め 家族で防災について考えましょう!	3	くらしの情報	14~18
まちの話	4~6	島原半島世界ジオパーク	19
世界遺産コラム	7	南島原市図書館だより	20
南島原にゆーす	8~12	FoodExpo2018	21
(教えて!国民年金)	9	消費生活センター	21
健康コラム	13	保健事業のご案内	22~23
		市民カレンダー	24